
目次

- 【01】 事業報告1
 - OFIXボランティアリーダー・キャラクター決まる
- 【02】 OFIX奨学生のレポート
- 【03】 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業研修事業
 - 安藤クラブ in スリランカ
- 【04】 大阪府外国人情報コーナーだより
 - 仮住民票について
- 【05】 ボランティアの声
 - 国際交流二十年の財産 -- 森 加代子 (ホストファミリーや文化ボランティア)
- 【06】 お知らせ
 - アメリカ留学説明会の開催
 - 大阪府堺留学生会館オリオン寮の紹介
- 【07】 OFIX国際交流員のレポート
 - あいさつと文化

【01】 事業報告1

■OFIXボランティアリーダー・キャラクター決まる

OFIXボランティアの知名度の向上を図り活躍の場の拡大を図るため、PR活動等で活用するキャラクターデザインを募集したところ、皆様方から多くのご応募をいただき、ありがとうございました。

選定委員会による厳正なる審査の結果、大阪市在住のグラフィックデザイナー塩崎榮一さんの作品が最優秀作品に決定いたしました。

塩崎さんの作成意図は「外国人が安心して暮らせる環境づくりを目指す人を地球でデフォルメしてキャラクターにしました。」ということで、選定委員からも「親しみやすく、温かい雰囲気が出ており、色合いもよい。」などの意見が出されていました。

3月9日には理事長から最優秀賞の贈呈を行いました。

今後はOFIXボランティアの活動のシンボルとして可愛がってください。

【02】OFIX奨学生のレポート

2009年4月からOFIXの奨学生于涛(ウトウ)と申します。2001年高校卒業後、グローバル社会に適應する人材を目指して、日本留学を選択しました。今年でちょうど9年間日本で過ごしたことになります。

今年3月大阪大学医学系研究科博士後期課程を修了し、4月からアズワン株式会社に入社することになりました。長い間本当にお世話になりました。心より感謝しております。

2003年初めて日本に来たとき、青森大学工学部生物工学科で4年間の留学生活を楽しく過ごしてきました。青森大学卒業後大阪大学大学院医学系研究科に進学し、癌やIPS細胞の研究を積極的に取り組んできました。自分の研究成果も数多くの学会で発表させて頂きました。

研究以外に社会活動や国際交流活動などにも力を入れて取り組んでいます。特に大阪大学中国人留学生学友会の会長を務めてから、多様な価値観を持つ人間と接することを通じて、人のいい所を吸収し、自分を変化させ、更に成長した。この経験から、日中両国友好の重要性は肌で感じる。自ら企画したイベントの中でチームワークの重要性も十分理解でき、これからも、人と人の信頼関係を最も大切にしたいと考えています。

将来、私は外国人のバックグラウンドや独自の目線と国際交流活動の経験から学んだノウハウ及び専門知識と語学力を生かして、日本と中国両国ビジネスの架け橋として、活躍したいと考えています。

最後になりましたが、OFIXのご発展と皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【03】大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業研修事業

■安藤クラブ in スリランカ

大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業（安藤プログラム）に、これまでスリランカから参加した歴代研修生から、OFIXのみなさんに、スリランカ安藤クラブの設立の報告をいたします。これは、建築業界との共同や、教育機関とのネットワークの拡大をねらいとしたクラブです。

2011年12月15日～17日に、構造設計及び建設と管理に関する国際会議(ICSECM 2011)がスリランカのキャンディで開催されました。9名いるスリランカの歴代研修生の内、7名が会議には出席しました。

スリランカ安藤クラブは2011年12月17日に初めての総会を開きました。そこではクラブ役員を選出とこれからの活動について話し合われました。安藤プログラムの歴代研修生によって、より高度な教育のための取り組みや、建築業界との共同関係が構築されていくことは、特筆すべきことだと思えます。

メンバー全員、クラブとしてスリランカにおける持続可能な環境建築を促進するために、産業界並びに学界における資源の活用のためのプログラムに着手することを、決議しました。スリランカ緑の建築協議会などの団体との更なる協力と共同や、個々のメンバーの所属機関のネットワークがより広がることで、スリランカ安藤クラブの成長を促進してい

くことでしょう。今後、クラブではスリランカのキャンディで月に一度、ミーティングを開く予定です。

日本の大阪で安藤プログラムを毎年行い、学生や社会人に素晴らしい機会と特別な経験を提供して下さっているOFIXの多大なる支援とその役割は、ここスリランカでもよく知られています。

【04】大阪府外国人情報コーナーだより

■仮住民票について

先月のOFIXニュースでは今年7月に施行される新入管法の概要を説明しましたが、今回も続けて新しい制度について説明します。この制度では、現在の「外国人登録証」が廃止され、「在留カード」へ移行しますが、その前段階の措置として、正確な住民票を作成するための「仮住民票」が作成されます。作成の基準日は法律施行の2カ月前の5月7日に制定されています。外国人登録原票に基づいて作成されるこの仮住民票の記載事項はこの日以降該当する中・長期滞在の外国人本人に通知されます。この通知で宛先不明で返送され居住の実態がないと判断されると、仮住民票を消除される可能性があります。また、仮住民票が作成されず、7月9日の施行日に住民票が作成されなかった外国人の方については、施行日後14日以内に届出をしなければならないこととなっています。

◎大阪府外国人情報コーナー

(月-金曜日(祝日を除く))

(対応時間: 9:00-17:30)

専用電話: 06-6941-2297 FAX: 06-6966-2401

E-mail: jouhou-c@ofix.or.jp

対応言語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

【05】ボランティアの声

※当財団の事業を支えて下さっているボランティアの皆様の中より、今回はホストファミリーや文化ボランティア活動でご活躍いただいております森加代子様から寄稿をいただきましたのでご紹介いたします。

■国際交流二十年の財産 -- 森加代子 (ホストファミリーや文化ボランティア)

我が家が国際交流に携わって二十年がたちます。偶然という糸で出会えた彼らとは成長する姿を感じられます。学生時代に来日し、就職、結婚、子供の成長等その時々を連絡し又、長年音沙汰が無くても突然手紙で訪ねて来る彼らの為に、元気でいなければならないのも嬉しい。反面、戦争や災害で安否を気遣うこともあり、オリンピックやサッカー等ではどちらを応援しているのか?と言う事もある。国際交流は本来の生活の様子を見せる事、見る事でその国の習慣、文化を正しく認識でき、其の上で私達は何をしなければならないか、何が必要なのか、短期の交流でも見えてくる。言葉や習慣の違いを超えても、心はどの国の人にも通じるものがあり、来日した彼らは確実に皆日本が大好きです。教科書や本には載っていない経験という大きな財産を我が家は沢山頂きました。

【06】お知らせ

■アメリカ留学説明会の開催

アメリカや海外に興味がある！留学してみたい！とお考えのみなさん！
4月21日（土曜日）、フルブライト・ジャパン（日米教育委員会）主催、
大阪府、財団法人大阪府国際交流財団、関西アメリカンセンター共催による、
アメリカ大学・大学院留学説明会、フルブライト奨学金説明会を開催します。

フルブライト・ジャパンは日米政府が出資する日米教育交流のスペシャリストです。アメリカ留学に関する情報満載、質疑応答の時間もありますので、アメリカ留学に関してわからないことや疑問に思うことはどんどん...質問してください。みなさんの参加をお待ちしています。

プログラム

[大学・大学院留学説明会]

1. フルブライト・ジャパン（日米教育委員会）の概要と説明会の目的
2. アメリカ留学の最近の傾向
3. 日米の高等教育の比較
4. アメリカ大学 / 大学院教育の特徴
5. 大学選択の要領
6. 留学手続きのプロセス
7. 留学経験談（予定）
8. 質疑応答

13:30 開場

14:00 アメリカ大学・大学院留学説明会

16:00 終了

[フルブライト奨学金説明会]

16:00-17:00

お申し込みはこちらから

[大学・大学院留学説明会]

http://www.fulbright.jp/study/event/setsumei_os.html

[フルブライト奨学金説明会]

http://www.fulbright.jp/study/event/setsumei_gr.html

場所 大阪府咲洲庁舎 44階 大会議室 大阪市住之江区南港北1-14-16

<http://www.pref.osaka.jp/location/location16.html>

■大阪府堺留学生会館オリオン寮の紹介

当財団では、外国人留学生のための宿舎「大阪府堺留学生会館オリオン寮(Orion International House)」を運営しています。

オリオン寮： JR 阪和線上野芝駅より北東へ約400m全室単身者用（ユニットバス付）。エアコン、学習机、ベッド等、インターネット（光回線）完備。

居室利用料は月額26,000円（敷金なし・共益費込み）電気・水道料金別途。

各階に自炊室があり、調理や洗濯もできます。

寮内には管理人や学生相談員（男女各1人）もいるので、留学生活も安心です！

楽しい地域交流会や災害訓練、キャリアセミナー等も開催予定です。

館内見学は随時受け付けています。

※2012年4月入居については、募集を締め切らせていただきましたが、空室が出次第随時申込みを受付させていただきますのでお問い合わせください。

空室状況についてはホームページ上で更新させていただきます。

入居申し込みについては各学校の留学生担当窓口にお問い合わせください。

留学生会館ホームページ

<http://www.ofix.or.jp/shien/index.html>

【07】 OFIX国際交流員のレポート

■あいさつと文化

皆さんこんにちは。国際交流員のアルビンです。先月また多くの方々が私が書いた記事を読んでくださってありがとうございます。先月珍しくコメントもいただいてありがとうございました。これからも、コメントやリクエストなどがあればinfo@ofix.or.jpまでお知らせください。今回はあいさつと異文化について話したいと思います。

2004年にフィリピンの友達に会いにロシアに行きました。その時にフィリピンの友達にロシア人の友達（女性）を紹介してくださいました。初めてだったので、握手のつもりで手を出したら、向こう側は両腕を広げました。一瞬どうすればいいのかわかりませんでした。最終的に向こうは私の手を取って握手してくれました。そのきっかけで、やっぱり文化によってあいさつは違うんだなと思いました。後で聞きましたが、ロシアでは初めて会う人にハグをしないそうです（友達の友達は特別らしい）。しかも、女性が自分の手を出していないと、男性は女性の手を取らないで、あいさつとして軽くうなづくそうです。

あいさつはとても重要ですね。特に今のグローバル化が進んでいる時代で、間違ったあいさつをすることで失礼なことをしてしまう可能性もありますから。では、どんなあいさつがあるのでしょうか。

フィリピン：初めて会う人達は握手します。仲がいい友達は、性別が関係なくハグをすることもあります。それから、男女の場合はほっぺにキスをします（と言ってもほっぺとほっぺをあてて「チュッ」って音を出すだけです）。

ラテンアメリカ、フランスとイタリア：国によってあいさつの仕方は微妙に違いますが、だいたい男性同士では握手をします。仲がいいなら、ハグもありです。男性と、女性または、女同士なら、仲がいい人はほっぺをキスします。国によってキスの回数は違います。例えば、スペインでは2回（両ほっぺ）キスをします。他の国では1回だけで十分です。初めて会う場合は、女性同士ならほっぺにキスをします。男女なら、ほっぺにキスをする国もありますが、しない国もあるので様子を見てください。キスをしないな

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイド-ムおおさか5階

TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401

